

## 老朽化、および更生した下水道管きよの耐震設計法に関するワークショップ

下水道管きよの老朽化が急速に進んでおり、老朽管きよの耐震性確保が重要課題になっています。日本下水道協会では、東日本大震災を契機として、「下水道施設耐震対策指針と解説」(1997, 2006)と「下水道施設耐震計算例(管路施設編)」(2001)を2014年、2015年にそれぞれ改訂しましたが、これらは、実際とは異なる管きよの地震時挙動を予測すること、老朽化していない管きよを対象としていること、更生した管きよを対象としていないことなどに課題を残しています。

土木学会関西支部共同研究グループ「老朽化、および更生した下水道管きよの耐震設計法に関する研究」では、大阪市を対象に現状や抱えている問題点、課題解決の方向性を議論し、産官学が共同して老朽管きよ対策、とりわけ耐震化対策の課題解決のための調査研究活動を進めて参りました。

平成27年度は、研究の第一段階として、健全な管きよの耐震性を照査するための「応答変位法によらない新しい耐震設計法」を開発しましたので、下記の要領にてワークショップを開催し、研究成果として報告します。多数のご参加を頂きますようご案内申し上げます。

### 記

開催日時：平成28年6月11日(土) 13:00～15:00

開催会場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス フォレストハウス1階 F106

<http://www.ritsumei.ac.jp/campusmap/bkc/> (27番)

※土木学会関西支部 WEB サイトの年次学術講演会のページもご参照下さい。

[http://www.jscekc.civilnet.or.jp/secretaries/planning/nenkou/2016\\_rits/kaisai.html](http://www.jscekc.civilnet.or.jp/secretaries/planning/nenkou/2016_rits/kaisai.html)

プログラム：

13:00～13:15 開会挨拶・活動報告

代表者 大阪市立大学客員教授 東田 淳

13:15～13:35 弾性論に基づく応答変位法に対する批判的考察

大阪市立大学客員教授 東田 淳

13:35～13:55 円形管の耐震設計法(断面方向)の開発

中央復建コンサルタント 井上裕司

13:55～14:15 提案設計法と現行設計法によって予測した RC 管の地震時挙動の比較

アサノ大成基礎設計エンジニアリング 島津多賀夫

14:15～14:35 提案設計法と現行設計法によって予測した FRPM 管の地震時挙動の比較

阿南工業高等専門学校 吉村 洋

14:35～14:55 ディスカッション (会場・講演者・研究会メンバーによる意見交換)

14:55～15:00 閉会挨拶

代表者 大阪市立大学客員教授 東田 淳

共同研究グループ「老朽化、および更生した下水道管きよの耐震設計法に関する研究」の  
“平成27年度報告書”

[http://www.jscekc.civilnet.or.jp/secretaries/seminars/2015/rokyuka\\_report\\_2015.pdf](http://www.jscekc.civilnet.or.jp/secretaries/seminars/2015/rokyuka_report_2015.pdf)

もご覧ください。